

# 民間支援まちづくりファンド 活動紹介

## 事業名

沼津の地域資源の情報発信  
魅力あるガイド活動の創造

### 1. 活動の目的

1. 沼津市内周辺地を訪れる方々に対し、おもてなしの心を大切に、ボランティアとして観光施設のガイドを行い、観光振興、文化の発展並びに地域活性化へ寄与する
2. 定期的な勉強会の開催と、新たな自主企画のイベントを継続的に行うことで、ガイド力のスキルアップを図り、利用者の満足度向上を目指す

### 2. 活動を始めた経緯

【団体代表：前田さんより】

◎これまで活動を続けてきた中で、お客様に対してより分かりやすく伝えるガイドとするには何が必要か、また『ぬまづ観光ボランティアガイド』そのものを多くの方に知ってもらうにはどう情報発信すればよいか、という課題を長年抱えていました。同時に、沼津を訪れたお客様に、またお越しいただくために、インパクトを与えるためにはガイドの質をどう上げていくかを模索していました。

◎一方、ファンドへの応募当時は会員数が減少傾向にあり、新しい方が入ってこない状況もあったため会員の高齢化が進んでいました。そのような中、先輩ガイドのノウハウを次代に引き継ぐためにはどうしたら良いかというテーマに取り組み、これらを解決するために、特に未来の人材育成に力を入れようと今回の取り組みに至りました。



〈びゅうおでの観光ガイド〉

### 4. この活動を通じてつながることができた方々

◎沼津史談会  
沼津の歴史や文化の振興や発信について日々活動している点で、ボランティアガイドと共通点が多く、これまで企画した街歩きイベント等において、協力をいただいています。

◎各種メディア（沼津朝日新聞、静岡新聞、コーストFM）  
以前は会員募集を広報ぬまづでのみ行っていたが、ボランティアガイドの普段の植栽活動などを取り上げていただくことで、会員の増加につながっています。おおよそ会員の募集時期の2カ月前くらいからイベントを企画し、各メディアに情報提供しています。

◎沼津西高校、沼津商業高校、日大三島高校、都留文科大学  
コロナ禍で打撃を受けた観光産業の影響の研究など、地域の課題を見つけ解決に向けた方策を立案するフィールドワーク学習の一環として、地域の案内などについて各教育機関から依頼を受けています。

◎静岡県  
20年にわたる長年の継続活動が評価され、静岡県知事から『地域活動ボランティア等善行』分野で表彰を受けました。これまで定例会や研修会を開き、人材育成に注力してきたことが、ここまでの活動の継続につながりました。

## 団体概要

- 団体名 ぬまづ観光ボランティアガイド (会員：67名)
- 代表者 前田 嘉男 ●ホームページ <http://numadu-boranthia-gaido.com/>
- 活動場所 沼津御用邸記念公園 沼津港大型展望水門（びゅうお）など

### 3. 活動内容

#### 1. ～助成時の活動について～【平成29年度/スタート支援型・平成30年度/ステップ'アップ'型】



〈外部講師を招いた定期的な勉強会〉

〈御用邸公園英文ガイド本作成〉



〈タブレットを活用したガイド〉

#### 2. ～助成から現在までの活動について～（令和4年12月現在）

◎現在年2回会員の募集を行っており、ここ2年半で会員は20人以上増えていて、その割合は全体の約3割に上ります。ベテランのノウハウを新たなメンバーに引き継いでいくには、勉強会や研修は不可欠です。またコロナ後のインバウンド需要に対応するために、会員の一部有志が月2回集まり、自主的に英会話を生かしたガイドの勉強会を開催しています。

◎ガイド事業は、施設で待機するガイドや、観光等で都度依頼のある依頼ガイドのほか、市内の小中学校の社会科見学のご案内が中心です。最近では市外（神奈川・山梨）の生徒からの依頼も増えてきています。



〈定期的な勉強会・学習会の開催 ※HPより引用〉

### 5. この活動を通じた効果や成果について

◎明確な目的を持った新しい若いメンバーが新規メンバーに加わったことで、自主的に活動する風土が出来上がってきました。単にガイドをこなすだけでなく、昔の沼津のことを自ら勉強して、魅力を発信したいと考える方もいます。

◎ボランティアガイドでは『知る・触れ合う・役に立つ』の3つの喜びをモットーに活動を続けています。利用されたお客さんたちからの『ありがとう』の言葉や、生徒たちからのお礼状が会員のモチベーションであり働きがいです。

◎会の代表に就任し、3年目になりますが、団体を運営していく中で、次に中心となって運営できる後継者の育成に力を入れていく必要があると感じています。ガイドとして現場で案内をしているときには思ったことはありませんでしたが、会が今後10年20年度と継続していくために、全体を俯瞰できる人材を早く育てたいと考えています。

### 6. 今後の活動について

◎直近の令和5年度の活動では、市制100周年事業と沼津港Sea級グルメに、ボランティアガイドとして是非関わりを持っていきたいと考えています。

◎その他沼津の宝の掘り出しについて、改めて見つめ直すことを考えています。その中でも、市内の各地域にはその土地ならではの逸話や歴史があり、後世に伝えていく試みを模索しています。今後『ぬまづ昔ばなし』の再編をしているe-monogatariさんとも連携しながら事業を進める予定です。